

教職員の言葉

シティライフ学部 名誉教授・前副学長 大久保 忠且

本学の発足時はブエノスアイレス大学勤務（客員教授）であり、2000年度から2017年度まで18年間の本学在職でした。

その間、学生と共に自然界の生物の生き方について学べたことは、諸君との楽しい交流と、教職員の皆さんの温かいご支援の“賜物”だったと心から感謝しています。



子ども生活学部 名誉教授・前学部長 日吉 佳代子

子ども生活学部の名称は、「乳幼児期からの子どもを対象とし、生活環境である家庭、施設、地域社会を総合的に視野にいれ、望ましい生活環境を作るための研究教育と、課題解決の為の実践的な活動を行う」という趣旨で命名しました。教育研究と実践が充実・発展していることを嬉しく思っています。



シティライフ学部 前事務局長 岡田 一成

事務局長として18年間勤務しました。暑い日に汗だくになって校庭の剪定を行ったこと、球技大会の楽しい思い出、センター試験、そして自己点検評価など経験のない業務にも追われていました。

これからも学園の総合的な教育研究資源を生かして、宇都宮共和大学がさらに大きく発展されますよう心からお祈りいたします。



シティキャンパス後援会長 谷田部 正一

宇都宮共和大学の開学20周年おめでとうございます。建学の精神である「全人教育」のもと、「ひとりひとりの顔が見える大学」を具体化されている学園長先生・学長先生をはじめとする教職員の皆さまに感謝申し上げます。本学のさらなる発展を心からお祈り申し上げます。



シティライフ学部 名誉教授 福岡 正夫

開学20周年まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げます。講壇を去ってから、かなりの歳月が経ちましたが、今でも那須、宇都宮両キャンパスで学生諸君とともに過ごした楽しい思い出が鮮やかに蘇ります。

大学のますますのご発展を祈念して、祝贺のご挨拶とさせていただきます。



シティライフ学部 名誉教授 夫 光植

金融論・アジア経済論等を担当しながら、国際交流センター長として、留学生指導の役職を務めました。

退職後は日本と韓国の間を往来しながら、学会活動を通じて学究生活を続けています。

大学発展の磐石な礎をお喜びすると共に、更なる跳躍を祈願いたします。



子ども生活学部 学科長 高柳 恭子

新元号「令和」の時代の幕開けに、宇都宮共和大学開学20周年を迎えますことは喜ばしい限りです。

須賀学園の120年の伝統を活かし、これからの「超スマート社会」を切り拓く人材育成、とりわけ地域の核となる保育者の養成は、ますます重要です。保育に携わる方々から本学には、大きな期待が寄せられています。



シティライフ学部 事務職員 磯 澄江

開学したばかりの頃の在学学生は、私とほぼ同年代でしたが、現在の学生は子どもくらいの年代となっています。月日の流れの早さに驚くばかりです。

本学には、素朴ながら素直で真面目な学生が多く、卒業生は様々な方面で活躍しています。今後も学生が充実した4年間を過ごせるようサポートして参ります。



シティライフ学部 同窓会長 新井 陸晃

1期生で入学し、男声コーラス部をつくりました。良き出会いがあり、一生の友人に恵まれ、今もコーラスを続けられていることは大きな人生の財産です。

歴史は続きます。学生の皆さんには、これからも古きものを学び新しいものを創造する精神を養ってください。

